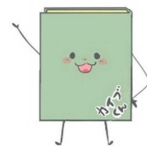


長野市公文書館便り



●発行日：令和7年（2025年）8月20日 ●発行：長野市公文書館

©NaganoCityArchives

昭和20年（1945）の後町国民学校

月 日	後町国民学校『昭和20年度 学校日誌』の記録(抄)
4月7日	警戒警報発令 全校待避ノタメ下校 解除ト共ニ登校 授業ヲナス
4月12日	警戒警報発令 午前ニテ帰宅待避ヲナサシム
4月18日	作業 高二女 鍊成農場へ 校庭開墾進捗ス
4月25日	勤労作業 若槻山へ 七時初五以上男子 八時初等科 本日モ無事ニ終ル。校庭開墾畑一号へ馬鈴薯植付ヲナス
6月15日	校庭へ甘藷植付ヲナス
6月21日	夜半警戒警報発令 B29十目標 長野上空通過 新潟へ
7月1日	今朝〇時三〇分、敵機頭上通過。通過後初めて警報発令。時ニ松本市上空を南ニ過ぎたり、監視哨の活動今朝は不出来なりき
7月2日	今朝夜半敵機数目標ニ分レテ通過ス
7月4日	勤労奉仕 午後警報発令ト同時ニタ立アリ 各ニ農家ニ待避ス 午後二時警戒警報発令(松本上田ヨリ関東へ向フ)直チニ解除トナル
7月11日	朝礼訓話 間引疎開等ノ関係ニヨリ一般ニ人心動揺、児童モ落付キヲ欠ク感アリ。 十時市役所ヨリ電話。講堂、昇降口、北便所取毀ノ件。コレト殆ンド同時ニ人足来リ作業開始。校長市役所出向中ニツキ直チニ連絡ス
7月12日	朝礼訓話 講堂疎開ニツキ 勝ツタメノ非常手段デアルカラ心ノ中ニ深く強く講堂ニ於テ教ヘラレタ後町学校ノ精神ヲ刻ミツケテ、益々戦局突破ニ向クコト 御真影並執語膳本御奉還 午前九時 山王国民学校奉安殿へ
7月14日	校庭ノ馬鈴薯収穫 毎夜盗難ニカゝルヲ以テ、成育ノ真中ナルモ、已ムヲ得ズ掘取ル
7月15日	夜半敵機直江津方面ヨリ南下シテ頭上ヲ通過ス。警報ハ通過後発令アリ
7月16日	強制間引疎開建物取拂ヒノタメ義勇隊出動ス。講堂廊下取毀シヲ行フタメニ余分ニ取毀シヲナス、直チニ連絡、中止セシメ市役所ト復旧交渉ヲナス
7月24日	警戒警報発令 間モナク解除トナル
7月25日	夜半空襲警報発令 敵機長野地区ヨリ新潟地区へ 県下ヘノ投弾ナシ
7月26日	夜半警戒警報発令
7月27日	警戒警報発令 八時三十分 B29一機機影ヲ露シ乍ラ新潟地区ヘ十二時二十分 直チニ解除
7月28日	警戒警報発令 十時待避 間モナク解除トナル
7月29日	珍らしく敵機来らず
7月30日	警戒警報発令 八時三十分 直チニ避難ヲナス 十時十分解除
8月1日	本日ヨリ勤労作業ニ挺身 初五以上 講堂敷地耕起作業 初四正門通清掃 午前中ニテ放課ス
8月4日	朝礼訓話 灯火管制ノ完璧ヲ期スルコト 防空壕作業 高等科男子
8月9日	防空壕作り 高男
8月13日	空襲関係ニヨリ十一時十五分ヨリ、各教室ニテ家庭通知ヲ配布ス 空襲 ・午前六時半上田方面空襲ニ続キ七時過ぎ突如第一回来襲、飛行場ヲ襲撃ス ・第二回十一時五十分頃 市街ニ対シテモ銃撃ヲ加ヘ、市民ノ心胆ヲ寒カラシム ・第三回二時二十分、第二回以上ニ猛烈ヲ極メ、駅附近遂ニ猛火ニ包マル ・第四回三時三十分 再び駅附近ヲ襲撃ス
8月15日	詔書拝戴式ヲ行フ 正午ラヂオヲ通ジ玉音ヲ承ル。云フベキ言モナク、身ノ置キ所モナシ。 嗚呼三千年ノ歴史ハ遂ニ逝クカ

今年の8月で終戦後80年となります。長野市後町国民学校（後の長野市立後町小学校）の『昭和20年度学校日誌』を読むと、80年前の学校と長野市の様子が断片的ですが、見えてきます。

戦争中8月13日に長野市が空襲を受けたことは有名です。長野駅と長野飛行場を中心に米軍の戦闘機ヘルキャットとコルセアが爆撃と銃撃を加えました。実際の空襲は1度だけでしたが、空襲警報は何回も出されていました。その回数は4月2回、5月5回、6月5回、7月は一気に増えて12回でした。25日から31日まで、ほぼ毎日警報が鳴り、鳴らなかった29日の日誌には『珍らしく敵機来らず』との文言が見えます。4月から警報の回数はだんだんと増え、7月になると夜昼なく警報が鳴り、人々は避難を余儀なくされたことがわかります。

空襲されたときの被害を小さくするために、建物を強制的に壊して、防火帯をつくる『間引疎開』がおこなわれたこともわかります。後町国民学校では7月11日午前10時に市役所から電話が来て、ほとんど同時に講堂、昇降口、北便所を作業員が取り壊し始めます。市役所に出張していた校長にすぐ連絡を取ったということは、職員にとって寝耳に水だったということでしょう。この強制疎開によって、駅周辺、昭和通り周辺の建物がたくさん取り壊されました。

戦争により食糧が足りなくなり、その増産のために校庭まで畑にしたこともわかります。校庭の開墾が決まって鋤入れをしたのが4月13日。25日には第一号としてジャガイモ（馬鈴薯）を植え付けています。順調に育ってきたジャガイモですが、7月になると『毎夜盗難』されるようになって成育途中でしたが、やむを得ず収穫をしました。「欲しがりません、勝つまでは」と戦争に一致団結して向かっていったイメージがありますが、実際には学校のジャズんでしまう人がいたということです。



20年度学校日誌』は、これまでわかっていなかった戦争中の長野市の日常の一部を読み取ることができます。なお、この日誌は今年度内に目録整備をして、公開される予定です。

全国地方教育史学会第 48 回長野大会の報告

全国地方教育史学会第 48 回長野大会が、長野市公文書館と長野市生涯学習センターを会場にして、令和 7 年 6 月 7 日（土）8 日（日）に行われました。この学会は日本教育史の研究者が集う全国規模の学会で、会員は北海道から沖縄までいます。今回は約 50 人の会員が参加しました。

7 日（土）は、長野市公文書館で資料見学会を実施しました。当館の概要を説明した後、3 グループに分かれて専門主事が館内を案内しました。その後は、閲覧の時間を取りました。せっかく遠方から来ていただいたので、じっくり資料を見ていただこうと考えたわけです。様々な工夫をして 9 人の職員全員で、閲覧申請や研究者の視点からの資料への質問など約 50 人の閲覧者に対応しました。



参加者からは、「よく準備された見学会だとすぐにわかりました」「豊富な資料があり驚いた」「一級資料だと思われる資料があった」「ゼミの学生を連れてきたい」「利用することしか考えていない研究者に、公文書館の苦労や大変さを伝えることができたことの意味は大きい」「じっくり見たいので、また来たい」などの声が聞かれました。

8 日（日）は、長野市生涯学習センターで研究発表とシンポジウムが行われました。シンポジウムは「長野県における学校資料保存の最前線」というテーマで、司会者は須田将司先生（学習院大学教授）に務めていただき、パネリストとして遠藤正教さん（国宝旧開智学校校舎学芸員）と竹内久隆（当館専門主事）がそれぞれの取り組みを報告し、指定討論者として小野雅章先生（日本大学教授）にご自分の取り組みと報告のまとめをしていただきました。当館の市内小中学校資料収集の取り組みは、先進的な取り組みとしてフロアの研究者からも高い評価をいただきました。

大会を通して参加者のみなさんからは、内容の濃い、熱のある大会だったという声が多く聞かれました。

日々是文書～スタッフ通信～

【新たな公開資料】（令和 7 年 7 月末現在）

「豊栄村役場文書 2」9 点

「妻科 花崎家文書」82 点

「塚田湧長文書 2」31 点

「芋井村関係文書」10 点

「松代藩領関屋村文書」179 点

「菅野文明収集文書」235 点

「下横田村関係文書」32 点

「小林愛次家文書」194 点

「山崎晴樹文書 13」58 点

【活動記録】

4/18 中村家資料調査

5/14 徳武家資料調査

6/7 全国地方教育史学会見学

6/30～7/4 松代公民館出前展示・説明会「松代一政治都市・製糸都市・被災都市の視点から」

7/1 芋井中学校資料調査

7/22～7/29 信州新町公民館出前展示・説明会「殿様がやってきた信州新町の歴史」

4/24 清野小学校資料調査

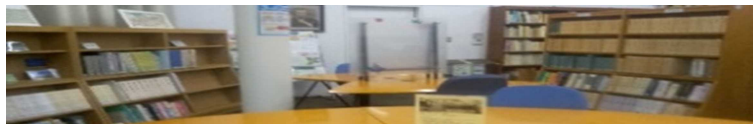
5/15・16 長野市役所非現用文書搬入

6/19 鬼無里小中学校資料調査

7/13 公文書館講座 1 「公文書館ってどんなところ！」

5/21 山岸家資料調査

6/25 丸山家資料調査



長野市公文書館

所在地 〒380-0928 長野市若里六丁目6-2 長野市若里分室内

電話 026-224-0701 F A X 026-224-0702

HomePage <https://www.city.nagano.nagano.jp/kobunsho/index.html>

又は **長野市公文書館** で検索

E-mail kobun@city.nagano.lg.jp

開館時間 午前 9 時から午後 5 時（閲覧申込みは午後 4 時 30 分まで）

休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日

年末年始（12月29日～1月3日）

こんなときにはご相談ください。

- ・古い土蔵などを取り壊すので、所蔵資料を寄贈・寄託したい。
- ・所蔵資料の保存・活用を図り、後